

2016年12月12日

調査レポート

実践女子大学 人間社会学部
実践「ペルソナ」研究会

実践『ペルソナ』通信 Side-Be (No.B-33)
「女子大生の腕時計の利用実態」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会では、「腕時計の利用実態」についてのアンケート調査（実践『ペルソナ』通信（No.33））の結果をもとに、実践女子大生の9割以上が腕時計を所持していることについて、調査しました。

※実践『ペルソナ』通信 Side-Be とは、実践『ペルソナ』通信として公表された調査結果をもとに、写真観察を行い、さらに深く実態を考察した調査レポートです。

調査結果

<黒系>



<茶系>



<白系>



<シルバー系>



<ゴールド系>



<その他>



実践女子大生はどんなシーンでも身に付けられるような色味や、シンプルなデザインの腕時計を選ぶ傾向や、一目で時刻を確認できるデジタルタイプよりも、指針で時刻を示すアナログタイプを好む傾向も見られた。しかし、こうした時刻の見やすさや防水加工などの機能性を、腕時計に求める人は少ないようで、何よりも価格を重視して購入する人が多かった。

学校やアルバイト、就職活動などあらゆる場面で身に付けられる腕時計は、実践女子大生にとって欠かせない存在なのではないかと考えた。

調査担当

実践「ペルソナ」研究会

3年 阿部杏子

3年 海老島優花

3年 鈴木奈々子

3年 楚良彩音

3年 富川未夢